

かながわ子ども教室

ニ ュ ー ス 第75号

理事長就任のご挨拶



特定非営利活動法人 かながわ子ども教室
勝浦嗣夫

本年6月に鳥居さんの後任としてかながわ子ども教室の初代の岡田さんから数えて5人目の理事長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

1947年に名古屋市で生まれ、4歳からは浜松市で成長しました。三菱化成～三菱化学（現三菱ケミカル）で34年、日本プラスチック工業連盟で7年勤めたのち、2012年12月に65歳で会社先輩の鳥居さんのお誘いで入会し、6年弱になります。

来年は4月にNPO法人化10周年、8月には子ども教室15周年を迎えることとなります。これまでの諸先輩のご努力により、子ども教室は、教室開催（場所、教科）、財政、運営の仕組みともに安定的な基盤が出来上がっております。しかし、会員数の減少、会員の高齢化など活動の持続性には、大きな問題を抱えています。次の3点を中心に活動していきたいと考えています。

<会員増強>

これまでの会員動向を調べて見ますと、2004年8月の子ども教室発足時は、会員数20名、平均年齢67.8歳でした。2009年4月のNPO発足時が、43名：70.7歳、その後、2012年に51名：71.9歳と、会員数が最高を記録しましたが、その後は漸減状態にあり、本年9月時点では、43名：75.8歳となっています。会員増強にはこれまでも会員皆様の個人的つながりを中心に成果を上げておりますが、近年、会社の雇用延長や雇用の多様化などにより、会社のOB会組織そのものが新入会員の獲得に苦勞するなど、非常に厳しい状況になっております。さらに、70歳までの雇用延長が具体的な動きを見せており、我々の活動にとっては、大きな問題と言わざるを得ません。皆様のお知恵もお借りして、具体的な会員増強策を作り、実行に移していきたいと考えております。

<教科の拡充>

現在、理科教室16教科、暮らしの教室5教科の、合わせて21教科をラインアップしています。分かりやすく、しかも子ども達に感動を与えられるような教室をめざし、常に内容に磨きをかけていくよう、講師はもとよりサポーターとして参加した場合などにも、積極的な提案を心掛

けて頂きたいと思います。また、新しい教科の開発も、我々の活動の活力を保つ上でも、重要なポイントなので、日々アンテナを張り巡らせて、新しい技術の動きなどに、目を光らせていきたいと思います。

<正規授業、理科クラブ等の拡大>

ここ数年、正規授業や理科クラブの開拓を目標に掲げ活動しており、いくつかの成果も上がってきております。時間が短いという難点はありますが、中高学年中心で、受講者のやる気もあり、教え甲斐のある教室ができるというメリットがあります。年間150回程度という、総数の枠を守りながら、重心を少しずつ動かしていきたいと考えています。

我々の活動は、ボランティア活動です。ボランティア=自発的ということなので、それぞれの会員が、自分の体力、能力の許す範囲で、活動を続けていくことが大切です。お互い健康を保ちながら楽しく気持ちよく「かながわ子ども教室」活動の維持発展に一緒にしましょう。どうぞよろしく願いいたします。

<かながわ子ども教室> (森英敏)

私は6月1日から「かながわ子ども教室」の副理事長・予算委員長に就任しました森英敏でございます。これからしばらくの間は、私が本欄の報告を執筆いたしますので、よろしくお願いいたします。平成30年度6月以降の活動のなかから、いくつかの話題を取り上げて報告いたします。

今年の夏は猛暑であり、その上子ども教室の教室も多く大変な夏でした。その暑さの中7月に22回、8月に17回の教室を開催いたしました。猛暑と回数の多さだけが原因とはいええないとは思いますが、体調を崩すメンバーが数名出ました。そのため急遽サポーターの交代要員を募集したりして“てんやわんや”の夏でした。これを契機にして新しい会員にもっと入ってもらわねばならないという空気がたかまり、今後具体的な対策を検討することにしております。

今年から新しい教室として「ロボット教室」がスタートいたしました。ロボット教室と銘打っていますが、内容としてはプログラミング入門的な性格を持った教室で、ものすごい人気であちこちから教室開催の希望が届き、講師を勤める人から「もう受けるのをストップしてくれ」という声があがるほどです。小学校でも近々取り上げられることになっており、今後もっと充実させたい教室です。

今年も富山で開催される「ねんりんピック」(11月3日~5日)に参加しますが、その準備も幹事を中心に着々と進んでいます。富山県はなかなか熱心なようで、昨年の秋田での大会以上に盛り上がるのが期待されています。

数年前に作成したパンフレットの見直しが進んでいます。あるお客様から、「地区担当の人から説明を受けないと内容がよくわからない。パンフレットを見るだけで内容がわかるものにしてほしい」という要望があり、それがきっかけで見直しが始まりました。来年度の受注(?)活動が始まるまでには完成させるようチームを中心にして活動中です。

以上